

北海道「星の降る里☆芦別」の地域や季節の話題をふるさと納税担当者がお届けします

地域の魅力を  
写真でお届け

# 星の贈り物

Vol.7  
12月号

■発行 芦別市役所行革・ふるさと納税推進課 (0124-27-7086) / (一社)芦別観光協会 (0124-23-1437)

師走に入り、芦別でも本格的に雪が降りはじめ徐々に根雪になりつつあります。朝晩の冷え込みで、普段より空気も澄んで星空も綺麗に見えるようになりました。

昨年末、本市に多額のふるさと納税をして頂いた前澤友作さんが日本民間宇宙飛行士として国際宇宙ステーション（ISS）へ向かいます。渡航中に上空のISSを観測して皆さんで応援したいですね。

12月は税の控除（寄附金控除）を受けるため、ふるさと納税の駆け込みが増えますが、地域の事業者や生産者が贈る最新の返礼品ラインナップをご紹介します！

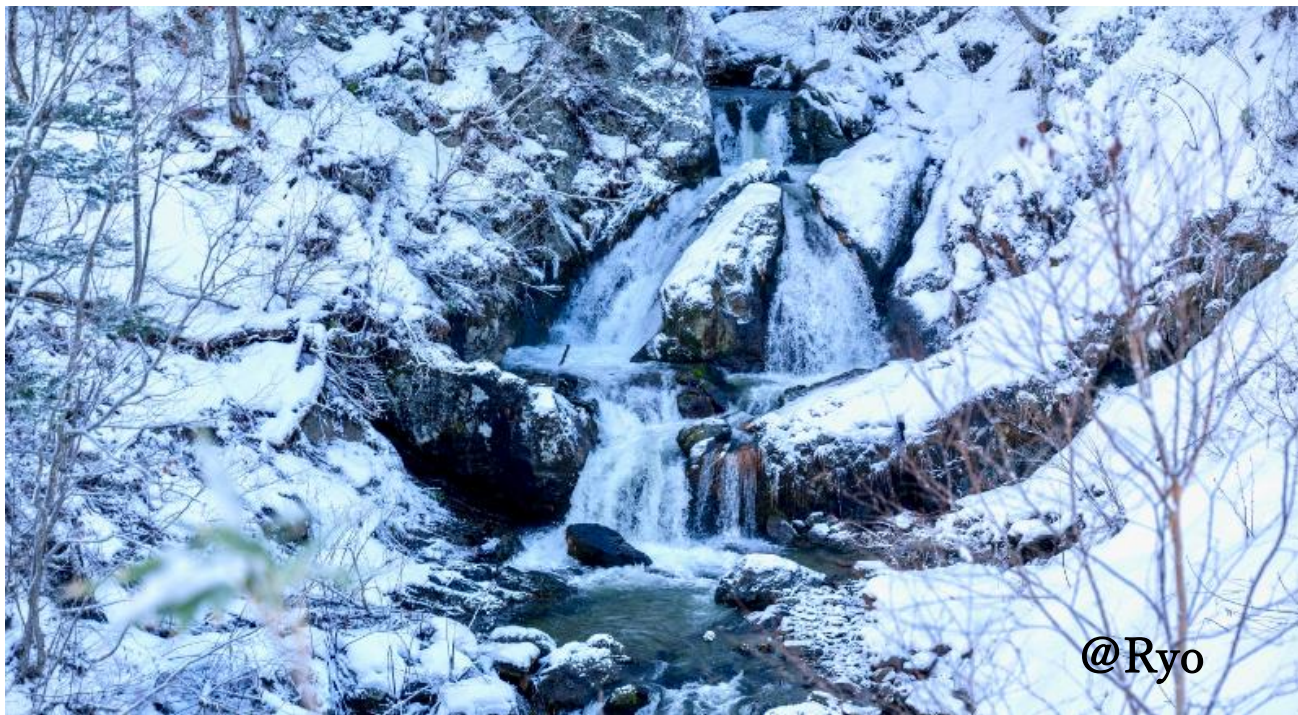


ZOZO 創設者 前澤友作氏  
令和3年度芦別市善行者表彰を受賞



## 冬の夫婦滝（新城町）

※除雪がされていないので片道徒歩で1時間程度かかります。



@Ryo

たくさん返礼品が選べます！

### ふるさと納税はこちらから

芦別市公式HP

ふるさとチョイス

さとふる

楽天

ふるなび

ANA

三越伊勢丹



本市では、6つのポータルサイトで寄附を受け付けております。  
※なお、サイトによって取扱商品が異なりますのでご了承願います。



## 新たな返礼品のご紹介

芦別市のふるさと納税応援キャラクターの「ほしの ゆめ」と「ほしの そら」です♡ 私達が、新たに登場したオシャレで素敵な返礼品を紹介しちゃいます！

まずは、黄金町に工場がある「ICELL EAP」さんで製造するiPS細胞の培養上清液を贅沢に配合したスキンケアコスメシリーズ。ご愛用者も多い製品なのでオススメです！



美容液 寄附金額 47,000円から



美容クリーム 寄附金額 40,000円から

昨年人気だった芦別出身フラワーアーティスト YANASE さんが手掛けるクリスマスのリースやツリー、アレンジメントが今年も期間限定「ふるさとチョイス限定」で花季さんから登場！オシャレなクリスマスにピッタリ♪他のラインナップも検索してみてね！



ツリー (S) 21,000円から



アレンジメント 30,000円から



アヴェニール ドゥ ノエル 28,000円から



限定商品 (S) 21,000円から



リース (S) 33,000円から

# ～ 共創のふるさと納税 ～

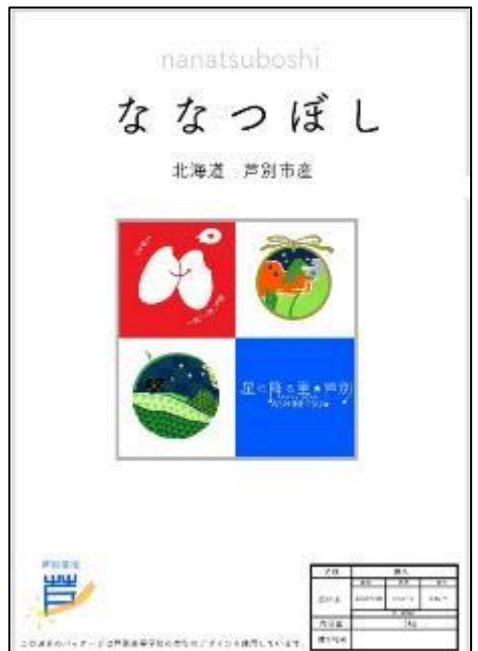
## 芦別高等学校 ふるさと納税

北海道芦別高等学校は、昭和23年に創立以来70年以上が経過し、1万7千人を超える卒業生を輩出している伝統校です。

今回は、「共創のふるさと納税」として、「課題研究」の授業の中でふるさと納税について学び、芦別が自慢できる特産品を全国の皆さんにPRしていくために、芦別、芦別米のロゴやキャッチフレーズを考えてもらう機会を設けて頂き、素敵なお米のパッケージを提案して頂きました。

ふるさと納税を通じて、生徒の皆さんに地域への愛着を持っていただけるよう、そして、芦別を離れても応援してもらえるような取り組みを進めていきたいと考えています。

生徒がデザインした  
芦別米のパッケージ



### 芦別米のおいしさに♡ ログとコピー 高校生が考案

「ひと粒でいっしょう」

稲と星空組み合わせ

【芦別】芦別米の産地拡大、高校も後押し。芦別高の3年生が、芦別米をより愛するキャッチコピー「ひと粒でいっしょうの恋」と、米粒を寄り添う恋人を表すロゴを考案した。市や産地関係者の「芦別米くん」(ライオン)も評価しており、デザインを決定し印刷。ふるさと納税の返礼品や、道の駅での販売に活用していく。

市の依頼を受けた同校は、3年生22人が参加する課題研究の授業で、印象的な言葉やロゴの表現、芦別らしさなどについて持ち論議を重ね、10月18種類のサインを提出。市は「産地関係者が推しコミで芦別を差別化するために役立つ」と、1日以降から受け付けている。さきと納税の返礼品の案選に採用した。

キャッチコピーとロゴを考案した井ノ口葉子さん(18)に合わせ、キャッチコピーは「ひと粒でいっしょうの恋」と、二人の「生」を掛け、一目で米粒だと分かるサインのロゴを組み合わせた。井ノ口氏は「見た人の印象に残るようには」と笑顔を覗かせた。

ほかの生徒もロゴを考案しており、松原拓樹さん(18)、横田真也さん(18)、山下悠斗さん(18)は3人一組で「生」の字と米粒の並びを、山本裕乃さん(17)と高野球部さん(18)は、それぞれ米粒と星などを組み合わせた。芦別米くんが今後、米だ利用する予定。市行革・ふるさと納税推進課の小谷内哲彦氏は「生産者・高校生が一緒に作り上げた芦別米の返礼品になった。芦別米をもっと全国に売り込みたい」と話している。(森田彰)

袋に印刷「見た人に印象残したい」

ロゴを考えた袋を持つ右から松原拓樹さん、井ノ口葉子さん、山本裕乃さん、横田真也さん

今年の春には、ふるさと納税返礼品として市内で木製バットを製造している道央ランバー様から、芦別高校野球部に練習用バットが寄贈されました。〔北海道新聞より抜粋〕

### 道産材バットで練習を 道央ランバー 芦別高野球部に寄贈

【芦別】製材業の道央ランバー(上高別町)は15日、道産材で製造した硬式野球用の練習用バット11本を芦別高野球部に寄贈した。

同社は2013年からバットの製作を手掛ける。市が今年2月にふるさと納税の返礼品に採用したことから、地元の高校生に寄贈することにした。

同校野球部は部員13人。試合では金属バットだが、木製バットはティール打撃など、ボールを芯でとらえる練習に使っており、活用する。

同社の営業事務が同校グラウンドを訪れ、「使った感想を聞いて改良していきたい」と、選手に手渡した。成田剛主将は「このバットで練習して全道大会出場を目指します」と感謝していた。(森田彰)

教諭さん(左端)からバットを受け取る野球部の成田剛主将ら